

病害虫防除技術情報第5号

令和8年8月21日
三重県病害虫防除所

シロイチモジヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しています。
ほ場を観察して初期防除に努めましょう。

- 1 対象作物：ネギ、ダイズ、花き類
- 2 対象病害虫名：シロイチモジヨトウ
- 3 発生状況と気象の状況

- (1) 8月6日から10日に実施した巡回調査では、青ネギ及び白ネギにおけるシロイチモジヨトウによる被害葉率が高くなっています。(青ネギ：2.0% (過去10年平均0.8%)、白ネギ：2.5% (過去9年平均0.4%))。(図1a、b)
- (2) 県予察ほ(松阪市嬉野川北町)におけるフェロモントラップ誘殺数(7月第4半旬から8月第3半旬)は225頭(過去10年平均94.9頭)と平年の2.3倍以上で推移しています(図1c)。
- (3) 1か月予報(8月20日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の気温は高い見込みで、シロイチモジヨトウの発生に好適な条件が続くと考えられます。

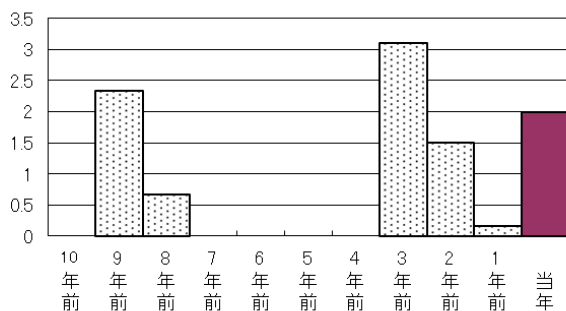


図1a：巡回調査での青ネギにおける被害葉率 (%)

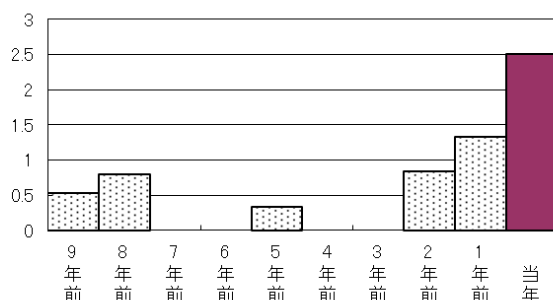


図1b：巡回調査での白ネギにおける被害葉率 (%)

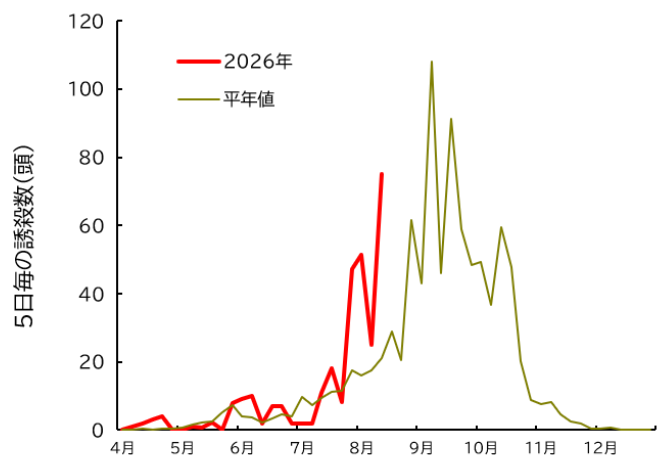


図1c：フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所：松阪市嬉野川北町)

4 防除対策

- (1) こまめにほ場を見回り、ネギにおいては表面に付いた幼虫や白く透けて垂れ下がった葉（図2 a、b）、ダイズや花き類については食害のある葉（図2 c）を探すなどして発生初期の防除に努めてください。
- (2) 老齢幼虫（図2 c）には農薬の効果が低下するので、集団で加害する若齢幼虫期（図2 a）のうちに防除してください。

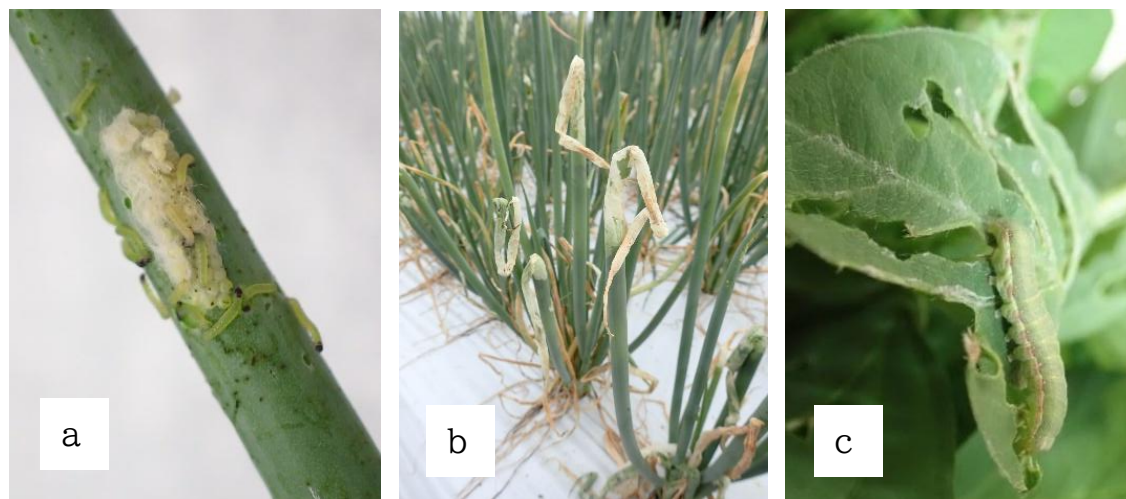


図2：a ネギ表面の若齢幼虫、b ネギの被害の様子、c ダイズを食害する老齢幼虫

- (3) 他県では薬剤抵抗性発達事例の報告があります。薬剤抵抗性発達を回避するため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- (4) 防除薬剤は次のインターネットサイトで検索することができます。
- <https://pesticide.maff.go.jp/>（農林水産省の「農薬登録情報提供システム」）
- (5) シロイチモジヨトウのフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。

<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm>

農薬は必ずラベルの表示を確認し、使用方法を守って使いましょう。

予報発行時のeメール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら→

(<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>)

